

各専門科の研修内容

消化器内科

消化器内科では、胃・大腸・肝胆膵疾患を中心に診療しています。疾患の特性上、消化管内視鏡検査の重要性は大きく、胃カメラ・大腸カメラはもちろんのこと、ERCPや超音波内視鏡検査も毎週行っています。研修医には内視鏡検査や腹腔穿刺など手技にも積極的に関わってもらいます。



◆内視鏡検査(2024年度) 胃カメラ：7,651件 大腸カメラ：1,384件

呼吸器感染症科

呼吸器・感染症科では、肺炎や気管支喘息、COPDといった頻度の高い疾患から、肺癌、間質性肺炎、結核といった専門性の高い疾患まで幅広く対応しています。研修医には、グラム染色や胸腔穿刺・胸腔ドレーン留置、気管支鏡検査を積極的に行ってもらいます。



◆気管支鏡検査(2024年度) 155件

循環器内科

循環器内科では、虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）に対するカテーテル検査・治療を中心に、デバイスの植え込み（ペースメーカー/ICD/CRT-D）や不整脈治療（薬物治療・アブレーション）、末梢動脈疾患のカテーテル治療を行っています。



◆循環器/検査・治療(2024年度)
心カテ：387件 PCI：99件 心臓血管手術：43件

消化器外科

消化器外科では、下部食道から肛門までの上・下部消化管における手術と肝・胆・膵の手術を行っています。鏡視下手術にも力を入れており、消化管手術における鏡視下手術の割合は年々増えています。研修医には積極的に手術に参加してもらい、症例によっては指導医のもと助手だけではなく執刀医にもなってもらいます。



◆外科手術(2024年度) 一般：546件 乳腺外科：54件

整形外科

整形外科では、骨折をはじめとした外傷、関節疾患、腰椎疾患などを中心に専門的な治療を行っています。研修医には、できるだけ多くの処置や手術に参加してもらいます。



◆整形外科手術(2024年度) 一般：474件 リウマチ：37件

救急科

救急科では、救急車搬送の患者さんと救急処置が必要な患者さんの初療対応を上級医と共に行ってもらいます。採血や末梢ライン確保、気管挿管、中心静脈カテーテル留置、簡易エコーなどの手技を修得するとともに、「問診・診察→鑑別疾患→検査オーダー→病態把握→上級医と治療方針についてディスカッション」という診察の流れの中で多くの経験を積んでもらいます。



◆救急外来(2024年度) 救急患者数：7,725名 救急車搬送：3,152件

麻酔科

麻酔科では、一般外科・整形外科の手術における、全身麻酔、脊髄クモ膜下麻酔、症例によっては硬膜外麻酔の穿刺、気管挿管、動脈確保、中心静脈穿刺などの手技を学んでいただきます。研修期間中にすべての麻酔手技をマスターするのは難しいですが、限られた研修期間の中で多くの手技を修得して欲しいと思います。



◆麻酔科(2024年度) 全身麻酔：979件 局所麻酔：269件 脊椎麻酔：43件

その他の専門科

内分泌・代謝科

リウマチ科

皮膚科

集中治療科

病理診断科

心臓血管外科

検診科*

腎臓内科(透析)*

放射線科

*関連施設の専門科